

企画提案書

1 スタンプラリーについて

より多くの美術館及び博物館等に参加を促した上で、幅広い層の区民等に、スタンプラリーを楽しんでいただくための、具体的な手法を提案してください。また、リアルスタンプとデジタルスタンプを併用した効率的な運用を提案してください。

■提案上のポイント

- ・2022年度の「ミナコレ」及び「港区ワールドフェスティバル」を受託した事業者が実施するため、イベント全体の流れを理解しており、円滑かつ確実な推進が可能
- ・幅広く認知されているLINEを活用したシステムとすることで多くの人が参加しやすく、かつ昨年構築済の仕組みを準用することで低コストで実施できる
- ・港区の「文化芸術振興プラン」を理解した上で、多くの人に楽しんでいただけるように①スマートフォン、②紙の2パターンのスタンプラリーを構築する。

1. LINEを活用した参加しやすいデジタルスタンプラリーの構築

当社はLINEを活用したデジタルスタンプラリーを構築します。最近ではイベントごとにアプリを構築するケースがありますが、利用者がアプリをダウンロードすることを手間と感じ、参加者が著しく少なくなる傾向にあります。今回は、LINEアプリをダウンロードしていれば、スマートフォンでNFCタグやQRコードを読み込むだけで、個別アプリのダウンロードをすることなくイベントに参加できるシステムを採用します。昨年度の「ミナコレ」や「港区ワールドフェスティバル」でも本システムを使用しているため、開発コストを最小限に抑えることが可能です。また、シンプルな仕組みのため参加者が利用しやすいだけでなく、施設利用者のオペレーションも負荷がかかりません。



<昨年度のスポット>

<デジタルスタンプラリーの参加導線>



※ A4サイズで片面2枚としてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

企画提案書

1 スタンプラリーについて

より多くの美術館及び博物館等に参加を促した上で、幅広い層の区民等に、スタンプラリーを楽しんでいただくための、具体的な手法を提案してください。また、リアルスタンプとデジタルスタンプを併用した効率的な運用を提案してください。

2. デジタルスタンプラリーに参加できない方も楽しめる紙スタンプラリーの構築

デジタル機器をお持ちでない方やお子様などデジタルスタンプラリーに参加できない方でも、文化芸術に触れ、楽しむことができる紙のスタンプラリーを構築します。

デジタルスタンプラリーは「使いやすさ」を重視する一方、紙スタンプラリーは「わかりやすさ」を重視し、施設ごとにオリジナルスタンプを作るなど老若男女問わず楽しめるような企画とします。

<紙スタンプラリーの参加方法>

施設に設置されたオリジナルスタンプを専用台紙に押印。スタンプが貯まったら、指定した区内交換窓口にてスタンプ数に応じハガキと交換。参加者は必要事項を記載して応募する。



<スタンプ台紙イメージ>

各施設のロゴなどを活用したオリジナルスタンプを作成



<リアルスタンプイメージ>

※紙スタンプラリーの応募時のはがきの切手代は参加負担の想定

3. デジタルスタンプラリーと紙スタンプラリーの両立

今回のミナコレで大切なのは「デジタルスタンプラリー」と「紙スタンプラリー」を両立させ、参加する施設にオペレーションをしっかりと理解いただくために説明をして納得いただくことや、応募後の情報を正確に整理して大使館応募の抽選を公平かつ適正に行う必要があります。

当社は昨年度も「ミナコレ」及び「港区ワールドフェスティバル」を受託しているため、イベント全体や大使館応募抽選時の細かい留意点を理解しております。「デジタルスタンプラリー」と「紙スタンプラリー」の併用は今回が初の試みですが、過去のノウハウ・経験を生かしてしっかりと丁寧に進めます。

※ A4サイズで片面2枚としてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

企画提案書

2 参加者特典について

子どもから高齢者までより幅広い層の区民等が、大使館等の訪問を魅力的に感じられるPR方法等を提案してください。また、大使館等が、本事業の趣旨を理解し、積極的な参加が見込めるような実施方法等を提案してください。

■提案上のポイント

- ・2022年度の「ミナコレ」及び「港区ワールドフェスティバル」を受託した事業者が実施するため、イベント全体の流れを理解しており、円滑かつ確実な推進が可能
- ・港区の「文化芸術振興プラン」を理解した上で、各国の歴史背景を理解しながら、過去のリレーションを生かした調整を大使館と行い、賛同いただく大使館を増やす

1. 効率的にPRや参加者を行うためのテーマ設定

昨今、新型コロナウイルスの影響を受け、国際交流ができる場や機会が減少しております。港区は、日本にある大使館のうち約半数にあたる80以上の大使館等が集まり、多くの外国人が暮らす国際色豊かな都市です。その特徴を生かし、区内の大使館協力のもと、世界の文化に触れ、国際理解と交流を深める事ができる特別なイベントを周知するために、テーマに沿ったデザインで制作物を作成します。

【広報活動例】

- ・区内の幼稚園・保育園・小学校・中学校にポスターの掲示やチラシの配布
- ・デジタルスタンプラリー参加者をメインターゲットとしたSNS広告を展開
- ・プレスリリースを活用した既存媒体での記事掲載

テーマ：「ミナコレで世界一周」

博物館・美術館を通して芸術を学び、大使館訪問を通して文化を学ぶ。
スタンプラリー形式により回遊性をもたせ、「世界一周旅行」をしている気分になるような仕掛けを行う。



2. 過去の大使館とのリレーション活用による参加大使館の獲得

昨年度イベント開催後のヒアリングの結果、次世代を担う子供達へのPRを重視している大使館が特に多かった印象です。大使館の積極的な参加を促すためには本イベントへの子供たちの参加が不可欠であると考え、子供専用プログラムのご提案等、大使館のニーズにも柔軟に対応致します。

また、各大使館に対して本イベントに関する説明会を開催し、来館者へのおもてなし方法のご提案や過去の参加者からの声等をお伝えすることで、本イベントに参加することのメリットをアピールします。

※ A4サイズで片面1枚としてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

企画提案書

3 大使館等への交渉及び調整について

区民等が、大使館等を通じて世界各国の魅力を知り、様々な国の文化に親しむことで国際交流を深めることができる取組となるよう、より多くの大使館等に参加を促すための交渉及び調整方法を、具体的に提案してください。

■提案上のポイント

- ・2022年度の「ミナコレ」及び「港区ワールドフェスティバル」を受託した事業者が実施するため、イベント全体の流れを理解しており、円滑かつ確実な推進が可能
- ・当社の大使館とのリレーションを活かして、単なる施設訪問ではなく、各国の文化に触れる体験をセットにし、参加者の満足度を高める

1. 効率的にPRや参加者を行うためのテーマ設定

当社は、

- ・日常業務での関わり（ビザ申請、パスポート関連事業など）
- ・大使館直発注の業務実績（出張手配、来日手配など）
- ・ワールドフェスティバルの実績（8年以上）

等の業務を通じて構築された、各大使館との強固なコネクションがある状態で本事業をスタートすることが可能です。昨年度の港区ワールドフェスティバルでは計33か国の大使館にご参加いただいた実績もあるため、「20か国程度の大使館の募集」をお約束できるだけでなく、参加者の満足度を向上させるイベント内容をご提案することが可能です。

■過去の連携事例



〈イラク大使館〉



〈カンボジア大使館〉



〈マレーシア大使館〉

大使館	連携内容
ミャンマー大使館	ミャンマーヌードルとミャンマーの飲み物を大使と共に試食
東ティモール大使館	東ティモール産のコーヒードリップ体験
ガーナ共和国大使館	ガーナ産カカオを使用したチョコレートの試食
イラク大使館	大使のプレゼンを聞きながら、イラクの伝統的な焼き菓子の試食

2. 過去の大使館とのリレーション活用による参加大使館との協議・調整

上述の通り、既に弊社と各大使館間のリレーションが構築されているため、スムーズなイベント推進が可能です。例えば休館日である土日でのイベント開催、大使によるプレゼンテーション、各国の名物料理の提供、大使館内の通常時は非公開の場所の見学等、より魅力的なイベントをご提案致します。